

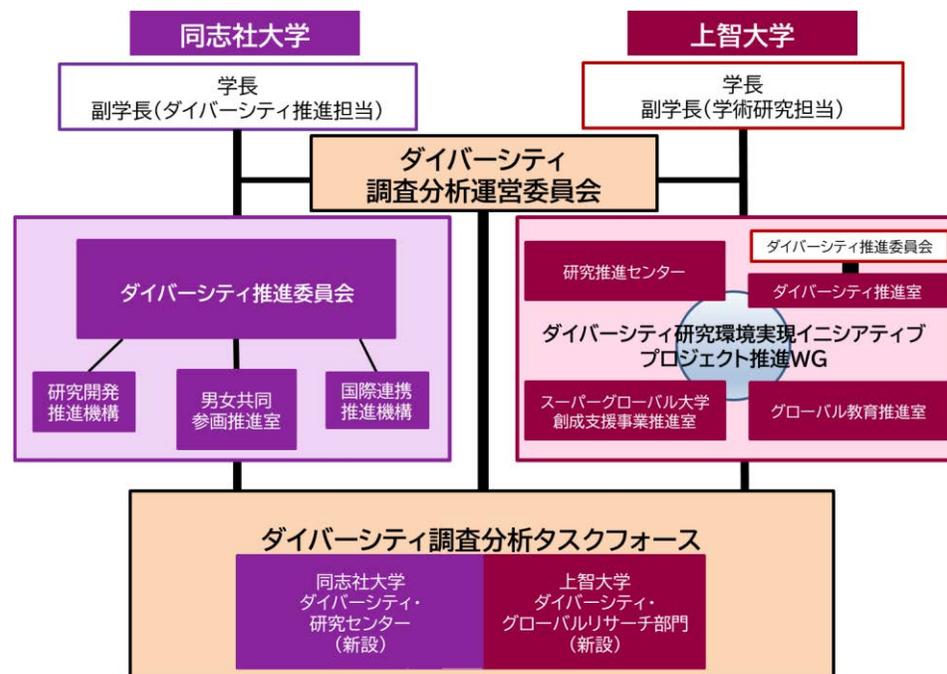
## 実施体制

- ◆「ダイバーシティ調査分析運営委員会」「ダイバーシティ調査分析タスクフォース」を同志社大学・上智大学の合同組織として、本事業のために新設
- ◆同志社大学は学長、副学長(ダイバーシティ推進担当)の下にダイバーシティ推進委員会(既設)、上智大学は学長、副学長(学術研究担当)の下にダイバーシティ研究環境実現イニシアティブプロジェクト推進WG(新設)を置き、両大学のダイバーシティ推進の基盤組織とした上で、ダイバーシティ調査分析タスクフォースの調査分析活動への専門的な助言と、各機関の機関内のダイバーシティ推進の戦略立案へ反映

## 特長

- ◆ 女性研究者活躍のための世界水準の環境および先進的取り組みの調査
  - ・ドイツのアカデミアを監査するダイバーシティAudit
  - ・アメリカのダイバーシティ推進状況とマネージメント
  - ・タイの国立大学での特徴的な女性研究者支援状況
- ◆ 私立大学特有の課題を検証し、私立大学のダイバーシティ推進モデルの構築
- ◆ 日本の大学に適したダイバーシティ推進の評価項目の検討とモデル構築

## 体制の概要



- ◆ **ダイバーシティ調査分析運営委員会**  
両機関より実施責任者となる副学長・国際連携担当副学長、男女共同参画(ダイバーシティ)推進室長、ダイバーシティ調査分析タスクフォースの代表者等から選出した複数名で組織し、調査分析の計画立案、進捗管理、点検等、事業全体の運営を統括
- ◆ **ダイバーシティ調査分析タスクフォース**
  - ・「同志社大学ダイバーシティ研究センター」と「上智大学ダイバーシティ・グローバルリサーチ部門」で構成され、実際の調査・分析活動を実施
  - ・学内のダイバーシティ推進関連の有識者、ダイバーシティ、ジェンダー、労働問題の研究者に加え、社会調査の専門家、理工系女性研究者、調査研究員、職員、URA等で構成

# 取り組み概要

## 1. 学内調査・分析の実施

ダイバーシティに関わる意識・実態に関わる学内調査を実施し、集計・分析結果を国内外調査項目策定に反映

## 2. 国内機関へのアンケート調査およびヒアリング調査

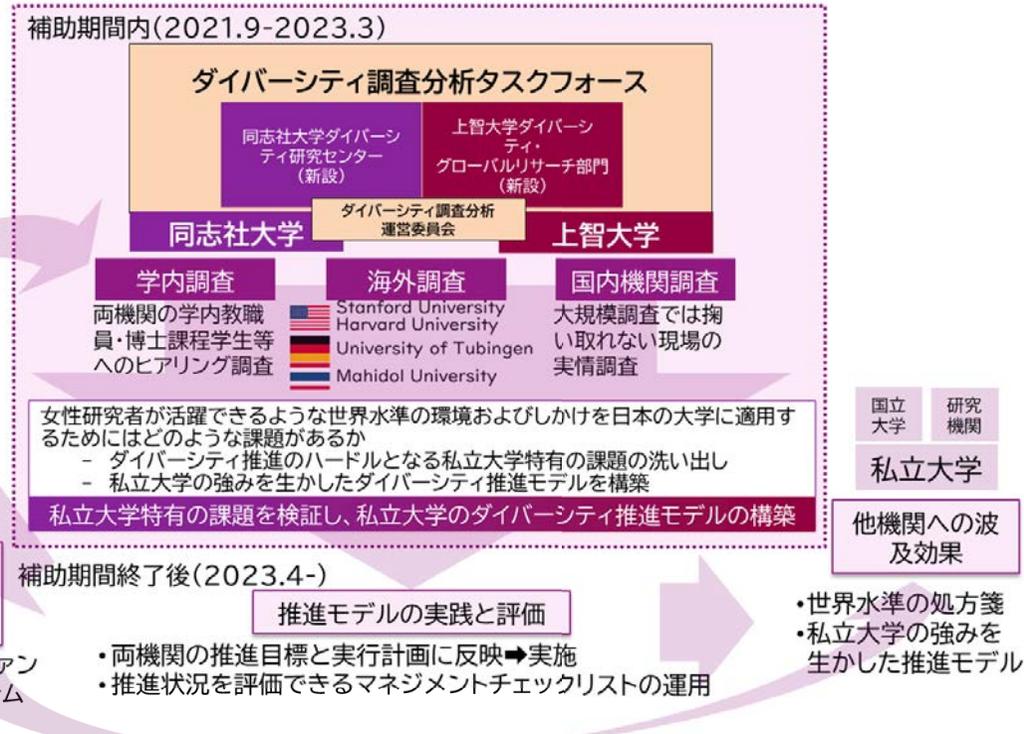
女性研究者の活躍や管理職登用が進んでいる私立大学を中心に、地域ブロック毎に調査対象校を選定・ヒアリング実施

## 3. 海外機関へのアンケート調査およびヒアリング調査

- ・チュービンゲン大学(独)：ダイバーシティAuditに関する調査
- ・スタンフォード大学／ハーバード大学(米)：アメリカの高等教育機関特有の採用や評価システム、キャリア支援面制度や風土、女性教員の登用を促進するためのキャリア形成への影響と制度に関する調査
- ・マヒドン大学(泰)：タイの国内事情や政府の政策、それに伴う大学の各種政策などについて調査

## 4. 研究成果等の対外発信

国際シンポジウムでの成果発信



## 同志社大学のダイバーシティ推進

- 2009年 男女共同参画推進室設置
- 2016年 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「科学するガールズ」養成プログラムが採択
- 2018年 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「科学するガールズ」養成プログラムが採択
- 2020年 女性初学長  
「科学するガールズ養成プログラム」が第3回リカジョ育成賞準グランプリ(公益財団法人日産財団)受賞
- 2021年 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「世界に羽ばたく科学するガールズ」養成プログラムが採択

## お問い合わせ

機関名:同志社大学

所在地:〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

連絡先:ji-kikak@mail.doshisha.ac.jp(学長室企画課)

HP:<https://doshisha-diversity.jp/doshisha-sophia/>